

『市民のため、組織のために頼れる隊員へ』

枚方消防署 警備課川越出張所 救急担当 消防士 ^{つくだ ゆうき} 佃 祐樹(26)

《業務内容》

私が勤務している救急担当では急病や交通事故、火災といった様々な災害現場に出動します。災害現場では、傷病者の観察及び処置を実施し適切な医療機関に搬送することはもちろんですが、傷病者やその家族に対する接遇も常に心掛けています。

現場出動が無い時は、過去の出動事案を振り返り、災害を想定した訓練を行ったり、市民の方に対する救命講習を行ったりしています。しかし、いざ出動指令が入ればいかなる場合でも出動しなければならないため、常に準備しています。

本消防組合では、平成29年4月からドクターカーの運用を行っており、災害現場で医師による早期の治療を行うことができるため、救命率の向上につながっています。



《仕事に対するやりがい》

私が大学生の時、目の前で人が倒れたことがありました。しかし、当時の私は周囲の人に呼び掛けることしかできませんでした。その時、偶然居合わせた救急隊員の方がすぐに駆けつけてくれ、多くの人がいる中で、冷静かつ的確な処置をしているのを目の当たりにし、自分の無力さを痛感するとともに、救急隊員への憧れを抱くようになりました。

救急隊員として現在勤務していますが、日中だけでなく夜中の出動も多くあります。また、時には悲惨な災害現場などにも出動しますので、体力面に加えて精神的にきついところもあります。

しかし、災害現場で傷病者やその家族から「ありがとう」と感謝の言葉を受けた時は、何より感慨深いものがあります。これこそが救急担当のやりがいだと思います。

私は救急救命士の資格を取得するという目標があります。より高度な知識や技術が必要な救急救命士の資格を取得し、市民の方の信頼に応えられるような救急隊員になれるように日々努力していきます。

